



『社会的共通資本』を守り、育てていくことの大切さ

先日、ある会議で初めて「社会的共通資本」という言葉を聞きました。ノーベル経済学賞に最も近かったと言われる宇沢 弘文氏が提唱した理論だそうです。同じような言葉に「社会関係資本」という言葉があります。これは生涯学習の領域でもおなじみの理論で、①信頼関係、②お互い様の精神、③ネットワークを大切にしたら、人と人が緩やかにつながり、地域社会の安全安心や教育水準や健康状態の向上に寄与するという考え方で、私たちはずっとこのソーシャルキャピタルを大切にしてきました。

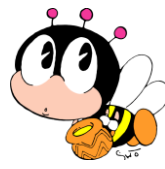
「社会的共通資本」はより幅広く世の中を捉える考え方です。宇沢氏はこれを次の三つの区分で考えました。①大気、森林、河川、水や土壌などの自然環境 ②道路、交通機関、上下水道、電気・ガス、今ならインターネットなどの通信環境も含めた社会資本(インフラ) ③教育、医療、司法、金融などの制度です。これらを従来の経済学ではあまり扱っていなかった「環境」に結び付け、みんなの幸福につながる経済学の構築を提唱しました。今ではSDGsに世界が注目し、持続可能な社会の実現に取り組んでいますが、彼は半世紀も前にこの問題に注目し、社会に警鐘を鳴らしていたのです。

宇沢氏は「社会的共通資本」の役割を「一つの国ないし、特定の地域に住むすべての人々が、豊かな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能とする社会的装置を意味する。一人ひとりの人間的尊厳を守り、魂の自立を支え、市民の基本的権利を最大限に維持するために不可欠な役割を果たすものである。」と定義しています。彼は、単なる理論家ではなく、地球温暖化、自動車の社会的費用の問題、さらには水俣病をはじめとする公害問題などに関与した行動家でした。今の時代は市場原理主義のもと、自己責任が強調され、格差の拡大や社会の分断が進み、自然環境の破壊が進んでいます。こんな今だからこそ、みんなが社会的共通資本の意義を見つめ直し、将来に残していくこと、更に育てていくことが大切になっていると思うのです。

私たちの新居浜市には社会的共通資本の大切さを体現してきた先人がいます。明治時代の別子銅山で、荒れた山々に植林を続け、あおあおとした山に戻そうと木を植えた伊庭 貞剛氏、そして昭和時代の最重要社会資本のひとつとなった東海道新幹線を生んだ十河 信二氏です。彼らが歩んだ足跡を振り返り、感謝し、その精神を継承する意義は大きいと思えるのです。

また、宇沢氏は自らを「Shadowの経済学者」と呼んだそうです。山陰米子市の生まれ、自伝も「山々の陰に生まれて」と命名したそうですが、常に社会の陰に生きた人々の側に身を置き、人間の尊厳や魂の自立を守ろうとする姿勢を生涯貫いた彼の姿勢を表しています。彼は教育について「子どもが生まれながらに持っている力と後天的に獲得した知識・能力を大切に育て、それらを育てることで社会的人間として大きく成長していくことを助けることが教育の目的で、子ども達が持つ知性や感性のデリケートで壊れやすい蕾に適切な刺激や養分を供給して、大きな花を咲かせること、可能性への信頼こそが大切だ。」と述べています。未来を担う子ども達こそが最大の社会的共通資本だと思っていたに違いありません。

(文責 関)



No.41 私の生涯学習

「神山町を訪ねて

(過疎化消滅からまちを持続可能にする取組の一端)」

岡田 和行

「学費一5年間実質無料：パンフレット（神山まるごと高専）」を見て、小さな田舎の地域に『高専』をつくった？できた？ということの不思議に合わせて、更に驚かされた。子どもは来るの？続けられるの？どうやって？等々の疑問が湧いてくる。講師陣を見ると星野リゾート代表、ライブニッツ代表・・・私でも耳にしたことのある企業の方々も。説明を聞くと、様々な有名企業の連携体制がもう既にでき、学校は2年目ということである。

神山町の将来へつなぐプロジェクト（神山町創生戦略9年目）が動き、前へ進むものとして実質的に機能していた。“実現するための計画”と簡単に言っていたが、これは並大抵のことではない、どこの地域でもどの組織でも、一番躓くところだと思う。

その一方法として、会議の在り方を変えるということで、会議は全体を3人グループにして話し合う。そうすることによって、その人となりや考え方、お互いの理解が全体に深まっていく。話してみることの大切さが良く分かる。そしてそれを具体化していく話し合い・・・（この中で、人との関係性が増える、アイデアが増える）ということだった。

次に、出てきたアイデアを列挙し「あなたは、どこをやりたいですか？」で名前を記入。同じやりたい事に3人集まれば、事業スタート。その際、様々な立場の人がいるが、役場職員でも、他の役職にあっても、そこをやりたいと言えば、役職・立場に関係なく移動もできるように、町長等も来て理解・協力を貰う。ここに事業に対する本気度が感じられた。

1999年神山アーティストレジデンス、2010年の神山塾等から現在までつなげ発展させてきたその工夫、あつい情熱、若い力が町を創っていると思わされた素晴らしい取組だった。



創造的過疎レクチャー



神山高専の外観

「生涯楽しく学びます」

野網 靖雄

常雇勤務の終了した、63才の2008年(平成20年)より、文センの「生涯学習大学」と広瀬の「高齢者生きがい創造学園」に80才になろうとしている今日迄、毎年参加させていただいています。今回、投稿の依頼を受けてこの17年間を、少し振り返って見たいと思っています。



写真①



写真②

この「生涯学習」はほぼかかさず本年度も、「日本文学講座」「新居浜高専市民講座」「懐かしの心の唄講座」等に加え、新たに実技の「メンズ・キッチン」に手を出しています。「高齢者生きがい創造学園」では、「書道」「絵画」「ピアノ」等のサークルにも参加しております。又最近は、愛媛県科学博物館やあかがねミュージアム、別子銅山記念図書館の興味のある講座に参加させてもらっています。一方、地域での活動としては、自治会、老人会などの諸会合、活動への参加があります。又、勤務時の会社のOB・OGの同好会への参加があります。永くしていた詩吟に関しては喉のこともあり、今は止めています。

この様に、今日行く(教育)、今日用(教養)には、ことかかない日々を送っています。さて本題の生涯学習大学に話を戻します。第1回目の参加は、「新居浜高専市民講座」2008年5月10日の「嘉納治五郎と中国」の話でした。以来、写真①に示す、黒表紙の「パスポート」にほぼかかさず、写真②に示すように受講を記録してきました。(最近は写真①の右のような受講証となっています。)受講証録は17年間で約300講座となっています。このパスポートには、旅券と同じように、顔写真、住所、生年月日などの記載の会員証が入っています。又、学長印が必要な「修了、皆勤の証」の頁もあり、私もかつては「松山大学公開講座」と「懐かしの心の唄」で皆勤賞をうけたことがあります。8割出席の修了証が精一杯と云う講座が多かったようです。しかし、パスポートの頁を捲ると、懐かしい講座がいくつも思い出されます。

最後にこのパスポートには、学習大学の沿革史、基本方針、行動目標等の記載があり、大学の開講は、1991年(平成3年)で今年は33年目となるようです。私は17年目の約半分に参加させてもらっていますが、第1期生の方は何名かおられるのでしょうか?この雑文を閉じるに当たり、1997年(平成9年)市制60周年の「生涯学習都市宣言」の一部を転記させていただきます。

『わたしたちは 夢がひろがり 愛のあふれるまち「にいほま」を目指して …中略… ふるさとに感謝して より豊かに生きていくために 生涯にわたり楽しく学びます』





講座カレンダー



📅 予定のご確認を…

※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	講座名	回	テーマ	時間	場所
3	火	おとなのための絵本セ…	6	1年をふりかえると…	13:30	生涯学習センター研修室
4	水	新・雑談しま専科	7	防災講演会（訓練）	9:30	生涯学習センター研修室
		M アレンジスワッグ	—	いつものクリスマスにフ…	13:30	生涯学習センター研修室
5	木	別子銅山の歴史をたどる	5	戦後の復興	13:30	生涯学習センター研修室
6	金	M 宇摩の文化財B	—	宇摩の文化財を訪ねてB	9:00	現地・その他
7	土	松山大学公開講座	9	Haiku と俳句 英語圏で…	13:30	生涯学習センター研修室
10	火	野鳥観察 初級	3	池田池探鳥会	9:00	現地・その他
		大人の日本史講座 追加	3	幕末の開国・動乱と明治…	13:30	生涯学習センター研修室
11	水	◎懐かしの心の唄講座…	6	童謡、唱歌、ラジオ歌謡…	10:00	文セン別館中ホール
		人生百年 健康に生き…	6	呼吸リハビリテーション	14:00	文セン別館視聴覚教室
12	木	◎科学博物館講座	7	星と夜空の明るさ	10:00	科学博物館第1研修室
14	土	◎日本文学講座	7	夏目漱石『坊ちゃん』と…	13:30	文セン別館視聴覚教室
18	水	今日から始める介護追加	2	自分の体を知ろう	13:30	生涯学習センター研修室

※◎がついている講座は聴講可能講座です。



「メンズ・キッチン たことれんこんの炊き込みご飯（レシピ）」

材料（6人分）		作り方
米	3合	1.米は洗ってザルに上げ、水気を切る。
ゆでたこの足	240g	2.たこは一口大の乱切りにし、醤油とごま油をからめる。
(醤油、ごま油 各小さじ1.5)		3.れんこんは6mm厚さのいちょう切りにし、酢水につける。
れんこん	1.5節(150g)	(水 1カップに酢 小さじ1) 5分程でザルに上げて
新しょうが	1.5かけ	水気をしっかり切る。
だし汁	540ml	4.新しょうがは千切りにする。
酒	大さじ 3	5.炊飯器に米、だし汁、酒、塩、醤油を入れて混ぜ、平らに
塩、酢	各小さじ 1	ならず。れんこん、しょうがを広げのせ、普通に炊く。
醤油	小さじ 2	6.炊きあがったら、たこを汁ごとのせてふたをし、6分程
青じそ(千切り)	5枚	蒸らす。大きく混ぜて器に盛り、青じそをのせる。

9月25日の講座で作ったメニューのレシピです。講座に参加された方も、「意外と簡単に作ることが出来、とても美味しかった。」と言われていました。

